

# いのち・くらし・子育て・市民の願いにそった市政を

## 政令市で一番高い「国保料」の引き下げを

### ズシリと重い保険料の負担

熊本市の国民健康保険料は、政令市の中で最高額です。一番低い広島市の1・6倍です。なんと、所得の2割を保険料が占めています。負担の限界を超えた保険料を払うことができない世帯が増え、収納率は毎年8割台です。払える保険料にするためにも、高い保険料は引き下げるべきです。



【政令市の保険料比較】  
(4人世帯・所得200万円)

熊本市	399,070
堺市	382,124
京都市	378,521
札幌市	369,866
福岡市	368,338
大阪市	365,426
岡山市	354,960
新潟市	351,480
浜松市	348,843
川崎市	340,920
仙台市	328,850
横浜市	328,600
静岡市	327,484
北九州市	320,370
さいたま市	319,903
千葉市	306,825
相模原市	287,955
神戸市	268,710
名古屋市	260,090
広島市	256,486

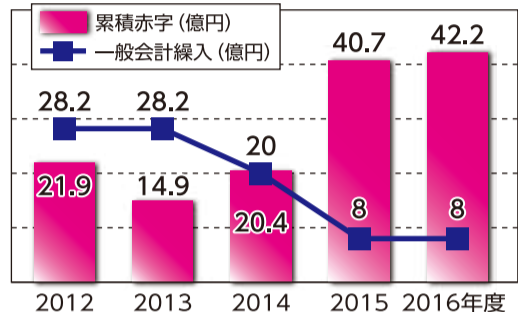
\*2016年度 (円)

### 一般会計繰り入れを元に戻し 負担軽減を

大西市長になって、赤字解消のための一般会計繰り入れが大幅に削減されました。繰り入れを元に戻し、払える保険料へと、負担を軽減させましょう。

来年度から、国民健康保険財政が県へ一本化されます。保険料負担が増えないよう、一般会計繰り入れのルール化や保険料の減免制度などが引き続き実施されるよう取り組みます。

【一般会計繰り入れが年々減り、赤字は増大】



## 子ども医療費助成「完全無料化」で中3までの拡充を

### 3歳から小3までが負担増 いよいよ来年1月から実施

来年1月から子ども医療費助成制度の見直しを実施されます。しかし内容は、対象年齢が中学3年生まで拡充されるものの、その財源を自己負担の引き上げによつてまかなうという、子育て支援に逆行するものです。現行500円の自己負担が700円となり、薬剤費にも自己負担月700円が導入されます。子ども医療費助成の対象年齢引き上げは市が財源をきちんと負担して実施すべきです。

子ども医療費助成制度見直し

現行制度		市の事業費 17億8200万円			
		0歳～2歳	3歳～4歳	5歳～小3	小4～中3
入院	医科	0	500円	500円	対象外
通院	歯科	0	0	500円	
	調剤	0	0	0	

見直し後 (2018年1月から)		市の事業費 19億円			
		0歳～2歳	3歳～4歳	5歳～小3	小4～中3
入院 (医科・歯科)		0			
通院	医科	0	700円	700円	1,200円
	歯科		0	700円	1,200円
	調剤	0	700円	700円	1,200円

### すべての子どもたちが安心して病院にかかれるように

子どもたちが、経済的な理由で病院に行けないということがあつてはなりません。世界的に見ても、6人に1人が貧困状態にあるという日本の子どもの貧困率は、アメリカに次ぐ高さです。経済大国でありながら、お金がないために病院に行くことをためらう状況があります。

### 他都市にない、「完全無料化」の実施を

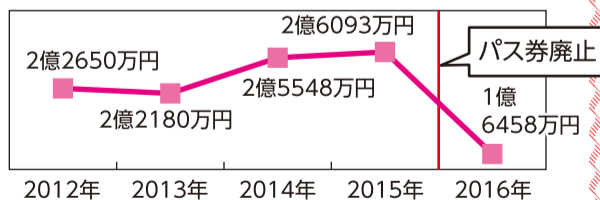
政令市でも、名古屋市・さいたま市などは、中学3年生までの完全無料化（自己負担・所得制限なし）を実施しています。熊本市でも、年齢によって月額700円・1200円へと引き上げられた自己負担をなくし、安心して病院にかかれるようにすることが必要です。

## 障がい者の社会参加促進へ、「無料パス券」復活を

### 「おでかけパス券」廃止で、障がい者の利用激減

2016年度から「おでかけパス券」が廃止されて、障がい者のさくらカード利用実績は激減しました。利用者からは「使いにくくなった」「負担が重い」の声が相次いでいます。障がい者の社会参加促進へ、「無料パス券」を速やかに復活すべきです。

さくらカード利用実績 (市負担ベースで)



日本共産党

2017年 秋の号

熊本市議団 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団 熊本市中央区手取本町1-1 TEL: 328-2656 FAX: 359-5047  
メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp ホームページ: 共産党熊本市議団 検索



上野みえこ



なすまだか



やまべひろし